～町長２期目就任ごあいさつ～

いちばん実感の島づくり

私は、この度の町長選挙におきまして、町民の皆様からご支持とご信託をいただき２期目の町政を担わせていただくこととなりました。この上なく光栄に感じますとともに、その使命と責任の重大さに、身の引き締まる思いであります。

町民の皆様から付託された、「人と自然が響きあう笑顔あふれる安心のまち周防大島」そして「周防大島がいちばん」と実感していただける「町づくり」の実現に向け、全力で取り組んでまいる所存であります。

そのためには、行財政改革を引き続き取り組むべき大きな課題の一つであると考えており、いかなる行政運営も「健全なる財政」の上に成り立つことをしっかりと意識し、どのような財政環境の変化、社会情勢の変化等にも耐えうる行財政運営に取組んでいかなければならないと強く感じております。

町民の皆様と町の未来を考え、「周防大島がいちばん」と実感していただける「町づくり」の実現に向け、財政の健全化を基本とし、このたび重要政策として次の３つを挙げ全力で取り組んでまいります。

１番目は、まちの「安心・安全づくり」についてであります。

町民の生命や暮らしを守ることは、自治体の最も重要な責務であり、大規模災害や火災、犯罪などへの対策をしっかり取り組み本町でどのような災害が起きようとも、一人の犠牲者も出さないことを第一に防災対策に努めてまいります。

また、本町が抱える多くの課題の解決に向け皆様からの建設的な意見をしっかり聞き町の施策等に反映させ、まちの「安心・安全づくり」に取組んでまいります。

２番目は、まちの「元気づくり」についてであります。

明日の地域を担うのは人であり、町政の大きな柱として島の未来を担う人材育成のために、少子化対策、子育て、教育環境の充実など、更なる施策を講じるとともに、島の強みを生かした観光力の強化や強い農林水産業の育成、地元企業の創業・起業・円滑な事業継承や定住対策など地域の活性化を進めてまいります。

最後に、町の「未来基盤づくり」についてであります。

本町が抱える多くの課題を直視し、町の組織、機構などについては、その時代の社会情勢にあった体制を構築し、暮らしや産業の基盤となる交通基盤の確保と利便性の向上、防災・防犯対策、医療介護福祉の充実、産業の振興、環境問題など本町が直面する多くの課題解決に努め、町の未来に向けた強固な基盤づくりを進めてまいります。

新たに与えられた４年間は、周防大島町政にとりまして、財政環境を含め、大きな転換期を迎えることとなると考えており、皆様からのご協力を賜りながら初心を忘れることなく町政運営に全身全霊を傾けてまいりますので、今後とも皆様方のより一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、町民の皆さまのご健勝をご祈念申し上げ、町長２期目の就任のご挨拶とさせていただきます。

周防大島町長　**藤本　浄孝**